

(別紙様式)

金沢市立千坂小学校

〔はじめに〕

本校は、金沢市の北部に位置し、昭和28年に開校した。全校児童は、644名、教職員は41名である。

学校の周辺には、たくさんのレンコン田が広がり、地域の特産物となっている。また、学校近辺には、「千坂ネイチャーフィールド」という学校園もあり、自然に親しむことができる。校区内には、国道8号線や北陸自動車道、JR北陸線などが走っており、交通量が多いのも特徴である。

平成23年度から、ユネスコスクールの認定を受け、地域や環境をテーマとして、持続発展教育の実践に取り組んでいる。

魅力発見！わたしのまち「千坂」

1 ユネスコスクールとしての取組

1年生 「しぜんとなかよし」

本学年は生活科を主としながら、地域の自然や地域の人とかかわることを通して、それらに関心を深めるとともに校区に対する親しみがもてるようになることをねらいとしている。

「きせつとあそぼう はるがいっぱい」の単元では、地域の公園へ行き、春のものを見つけをした。そして、春の草花を使っていろいろな遊びができることを知り、友達同士で遊びを通して交流し合い、春に触れた。そして「なつだいすき」の単元で、春との違いを見つけを行い、季節の変化と自然の変化に気付き、いろいろな発見をすることができた。



また、「あきといっしょ」では地域の公園へ秋見つけの散歩へ行き、秋の自然物を利用して、遊びや遊ぶ物を作り楽しんだ。そして、自分たちが楽しんだ遊びを年長さんにも体験してもらおうと、年長さんのことを考えて改良を重ね、千坂保育園の年長児を「秋のにこにこランド」に招待した。児童一人一人が年長児に遊び方を教えたり、手をつないで案内したりするなど、年下の年長児の気持ちに配慮しながら行動し、積極的にコミュニケーションをとるような主体的な姿が見られた。本単元を通して、児童が地域の自然や人に関心を深め、それらに親しみがもてるようになってきていると思われた。

2年生 「町探検ヘゴー！」

生活科の学習では、夏、秋にネイチャーフィールド探検を行った。初めは、バッタに触れることもできなかった児童も回を重ねるうちに平気になり、バッタ、カマキリ、チョウやトンボ、カエルなど様々な生きものと楽しく関わることができた。教室で飼育を始めると、えさは何をあげるのかという疑問から図鑑を使って調べ学習を行い、意欲的に学習を進めることができた。

また、町探検では、校区内にある公園をまわった。そこでは、どの公園にどんな遊具があるのか、特徴的な遊具に着目したり、小高い部分があることで遊びの工夫ができることなど、それぞれの公園の良さを感じ取ることができていた。そして、公園探検にとどまらず、それぞれの公園にいた虫や植物の違いを見つけることもできた。町探検をすることで、児童が千坂校区にある公園を知ったり新しい発見ができたりと、児童自ら遊びに行ける良い機会になったのではないかと感じる。

3年生 「伝統行事を学ぶ ～祭りだワッショイ～」

3年生では、地域の祭りについて見たり聞いたり体験したりする学習に取り組んでいる。金沢市の「百万石祭り」について調べたり「百万石音頭」を踊ったりすることで、祭りが地域の伝統として残っていることに気づくことができた。

その気づきを地域の祭りを調べる活動につなげた。夏休みを生かし、親や祖父母や地域の方から、地域の祭りについて聞いたり調べたり体験したりすることができた。調べたことをグループ発表会で交流し合



い、それぞれの地域に残っている伝統行事について楽しく学び合うことができた。このお祭り調べの学習から、これからも伝えていきたい地域の伝統と文化について、子どもたちの興味関心が高まったと感じる。

4年生 「ぼくたち地球防衛隊」

ごみ処理とその再利用の課題、水の浄化作用等の社会科学習と関連させて、総合的な学習の時間には、自分たちが環境保全のためにできることを考え、実践することに取り組んだ。ごみ焼却場や不燃物の埋め立て場、リサイクルセンターなどの社会科見学を通して、金沢市が抱えるごみ問題について理解を深めた子ども達は、クラスごとに紙や生ゴミ、金属などの様々なグループに分かれ、ごみを減らすために自分たちにできることを調べた。調べたことはクラスで発表した後、授業参観でお家の人や地域の方々にも伝えた。「ぼくたち地球防衛隊」の学習を通して、現在学校で取り組んでいるエコ活動や、これからできる家庭での取り組みに関心を高め、この千坂校区から地球環境を守っていくのだという意識を育てることができた。

5年生 「千坂の宝！加賀レンコン」

5年生では、3年生で学習済みである加賀レンコンの良さや現状を思い出し、加賀レンコンを守るために今年度は地域に良さを直接アピールできないか考え、実行することにした。まず、農家の方から休耕田をお借りして、本格的なレンコン栽培にチャレンジした。そして、収穫したレンコンを「どっこいしょ～レンコンフェスティバル」というイベントを開きそこで販売する計画を立てた。販売だけでなく、試食コーナー、効果など良さを伝えるコーナー、レンコンゲームコーナー、ゆるきゃらショーなどレンコンを様々な方法でアピールするイベントで、当日は多くの地域の方とふれあうことができた。子ども達もますますレンコンや地域への愛着を深めることができた。



6年生 「いいね金沢 ユネスコ・クラフト創造都市」

自分達の住む金沢についてより詳しく知るために、1学期には「百万石まつり」「金沢の名所」等について自分のテーマを設定し、調べ学習を進めた。調べたことをPower Pointや新聞にまとめ、発表を行った。また、2学期には、金沢が「ユネスコ・クラフト都市」に認定された意味を考えたりすることで、さらに金沢を見つめ直した。金沢の伝統工芸の中から一つ選び、良さや努力などについて調べたことを新聞にまとめて伝え合った。児童は、4年生の時にも伝統工芸について学習していたのだが、今回さらに詳しく調べたことで、金沢についてより親しみをもつようになった。その後、これからの金沢をどんな町にしていきたいかを考え話し合った。北陸新幹線が開通することで、全国的にも注目されているふるさと金沢だが、伝統を守りながら発展して欲しいというふりかえりを書いている児童が多かった。

児童会の取り組み

環境委員会では、学校エコプロジェクトの一環として古紙回収に取り組んできた。紙はゴミではなく、資源であるという意識のもとに地球防衛隊を結成し、集会やテレビ放送で呼びかけを行った。回収した古紙はトイレトペーパーに交換してもらい、児童に見える形で意識の向上をはかってきた。その他にも、エコ7箇条チェック週間やエコクイズラリーを行い、日常的にエコ活動を行ってきた。その成果が認められ、今年度は「学校エコギフト大賞」を受賞することができた。

2 成果と課題

ユネスコスクール加盟4年目であり、総合的な学習の時間を中心としたESDも定着してきた。今年度は昨年度の課題であった、地域へ直接発信する機会を持つため、5年生の学習で地域へ加賀レンコンを直接アピールすることができ、学校と地域との絆も深めることができた。フェスティバルに来られた地域の方や保護者からは、来年度も継続してほしいと多数の声が寄せられており、今後も継続した取り組みにしていきたい。その他、低学年では学習の成果を学年間交流、中学年では保護者へ向けて発信することができた。

しかし、全学年が学習の成果を発信できたわけではない。「知る・関わる・考え行動する・広める」の4つの学習過程を大切に、それぞれの学年で学習したことを直接発信したり、ホームページで積極的に発信するなどして、学校全体で取り組んでいきたい。